

## 2020 年第 1 回 IEEE 東京支部理事会 議事録(案)

日 時：2020 年 4 月 3 日(金) 12:00～14:00

場 所：Web 会議

出席者：徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer、  
奥村 COC Chair、東盛 FNC Chair、中村 MDC Chair、種村 NC Chair、  
川西 TPC Chair、稲森 SAC Chair、田中 PC Chair、鈴木 HC Chair、重松理事、  
高野 LMAG Chair、吉田 YP Chair、笹瀬 Past Chair、杉江 Past Secretary、  
眞田 Past Treasurer、野田 WIE Chair、百武オブザーバ、梶川オブザーバ  
事務局、セクレタリアシスタント、書記

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料 1)
  2. 2019 年決算報告および監査報告 (資料 2)
  3. 2020 年活動計画および 2020 年予算 (資料 3)
  4. 2020 年中間会計報告 (資料 4)
  5. 2020 年総会資料【審議】 (別冊総会資料)
  6. 委員会活動報告
    - ・ Chapter Operations Committee (資料 6-1)
    - ・ Fellow Nominations Committee (資料 6-2)
    - ・ Membership Development Committee (資料 6-3)
    - ・ Technical Program Committee (資料 6-4)
    - ・ Publications Committee (資料 6-5)
    - ・ Student Activities Committee【審議】 (資料 6-6)
    - ・ History Committee (資料 6-7)
    - ・ Nominations Committee (資料 6-8)
  7. Affinity Group 活動報告
    - ・ Life Members Affinity Group (資料 7-1)
    - ・ Young Professionals Affinity Group (資料 7-2)
  8. その他
    - ・ JC WIE 報告 (資料 8-1)
    - ・ R10 Meeting 報告 (資料 8-2)
    - ・ [参考] グレード別会員数の推移 (資料 8-3-1)
    - ・ [参考] Society 別会員数の推移 (資料 8-3-2)
    - ・ [参考] IEEE Region 10 Special Industry Track at TENCON2020 (資料 8-3-3)
- (Tentative)

議事：

## 0. Chairのご挨拶

Chairより開会の挨拶を頂いた。

### 1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】

(資料1)

Secretaryより、前回理事会議事録の確認があり、異議なく承認された。

### 2. 2019年決算報告および監査報告

(資料2)

Treasurerより、2019年決算報告および監査報告があった。当初予算では赤字を見込んでいたが、収支は黒字になった。本決算報告については、監査法人より適切と認められた。

### 3. 2020年活動計画および2020年予算

(資料3)

Secretaryより、2020年活動計画の説明があった。理事会開催予定、財務運営、東京支部講演会の開催、Student Branch(SB)の支援、若手会員及びLife会員向け活動の活性化、認定及び表彰支援、IEEE Fellowの推薦支援、会員とのコミュニケーションと会員の拡大、Industry Promotion活動の強化、東京支部が所管となるJoint Chapterの運営支援、関連組織との連携・協力について紹介された。特に、①Fellow/Senior昇格者の拡大、②会員獲得・維持活動の活性化、③ChapterとSectionの連携強化、④TENCON2020への支援については、2020年の重点活動と位置づけ、注力することが述べられた。

Treasurerより、2020年予算の説明があった。103円/ドルで立案、2020年収支は赤字を見込む。新型コロナウイルス対策で必要な予算案があれば連絡を頂きたいと補足があった。

### 4. 2020年中間会計報告

(資料4)

Treasurerより2月末時点での報告があった。事務局費以外ほとんど執行していない。Secretaryより、予算執行計画の進捗率について、予算の執行状況を随時見える化し、効果的な執行とするため、各CommitteeやAG等から計画を提出してもらった。今後これを更新していくことが報告された。また、Treasurerより、新型コロナウイルスの影響等で、計画外支出の発生など状況変化があれば適宜連絡を頂きたいと説明があった。

Chairより、新型コロナウイルスの影響でTENCON2020の開催形態(physical or virtual)に応じた予算シミュレーション等の情報を得ているかと質問があり、Secretaryより、現時点では把握をしていないが、スケジュール面では論文募集等の日程は後ろ倒しになるだろうと聞いていると回答があった。

### 5. 2020年総会資料【審議→承認】

(別冊総会資料)

Secretaryより、2020年総会資料について説明があり、異議なく承認された。第1号議案は2019年活動報告、第2号議案は2019年会計報告、第3号議案は2020年活動計画、第4号議案は2020年予算案である。2020年東京支部新Fellowのリスト、Bylaws等を資

料添付している。理事・委員会の改選はない。第1号議案に関して、第4回理事会参加者数29名は17名に、Chapter Activitiesの国際会議のMOU締結件数におけるFCS2件は1件に、またTCS3件は4件に、それぞれ訂正があった。

## 6. 委員会活動報告

### ・ Chapter Operations Committee

(資料 6-1)

COC Chair より、活動報告があった。TCS2 件を承認した。新型コロナウイルスの影響で virtual 開催の会議が多くなっており、TCS 第 1 件目の主催者からどんな開催形態でも IEEE Xplore に掲載できるかと質問があり本部に確認している。COC 支援費の支部移行について、最初の移行が東京支部であるため、JC COC Chair に状況確認した。各 Chapter に対して支部移行に関するアンケートを実施した結果の紹介があった。要点は 5 つあり、Chapter から十分な理解を得る必要があり春からの実施は難しい、支援費申請のオンライン化を移行と合わせて検討する、COC 支援費のプロセスだけが JC に残っている現状の解消が目的であることへの理解浸透を図る、Award は運用方法を検討する、移行に伴い継続的な事務運営ができるよう Officers Training を検討する、ことが報告された。

### ・ Fellow Nominations Committee

(資料 6-2)

FNC Chair より活動報告があった。2021 年のフェロー昇格者の増加に向け、現状認識、昨年の振り返り、2020 年の対応について述べられた。

MDC Chair より、シニアメンバーであることがフェロー昇格の条件なので、これをシニア昇格案内文に明示することで増加に貢献できるのではと発言があった。FNC Chair より、是非お願いしたいと回答があった。

Vice Chair より、シニアメンバー昇格者の増加施策について、IEEE 会員を「組織」として取りまとめている大学や企業などの機関において、シニアメンバー昇格推薦数の具体的な 2020 年目標値を IEEE レギュラーメンバー数の x%等と設定し、活動を担って頂くという依頼施策の提案があった。FNC Chair より、提案を受けて、次回理事会までに方向性を検討し説明したいと回答があった。

### ・ Membership Development Committee

(資料 6-3)

MD Chair より、支部会員状況、2019 年活動、2020 年活動計画の説明があった。2020 年 2 月の会員数は、前年同月比で 31 名増であった。IEEE 本部ではメンバデータベースの準備を進めている。

### ・ Technical Program Committee

(資料 6-4)

TPC Chair より、新型コロナウイルスの影響で延期した活動があること、今後の予定については状況に応じて事務局と相談しながら開催方法を決めてゆくと報告があった。

LMAG Chair より、第 2 回講演会は LMAG-Tokyo イブニングサロンは TPC の講演会と

は別に開催を予定しているため訂正があった。

・ Publications Committee (資料 6-5)

PC Chair より、活動報告があった。これまでの活動として、Tokyo Bulletin 発行、メルマガ配信、東京支部/Japan Council ホームページ更新、R10 Newsletter への投稿について報告があった。今後もこれらの活動を継続してゆく。

・ Student Activities Committee 【審議→承認】 (資料 6-6)

SAC Chair より、SAC Secretary の交代について審議依頼があり、異議なく承認された。

2020 年の活動計画について、新型コロナウイルスの影響で4月中に physical なイベント開催予定はないこと、Zoom 等を用いた virtual 会議を設けて学生活動を支援するために必要な予算を検討すると報告があった。

Secretary より、担当者交代や連絡方法の見直しなどの具体的な措置と合わせて、継続的かつ効率的な SB 運用のために probation 対策に関する根本的なポリシーや対応ガイドラインを検討して欲しいとの要望があり、SAC Chair より、関係者で相談して報告すると回答があった。

・ History Committee (資料 6-7)

HC Chair より、活動報告があった。IEEE マイルストーンの決定について、遺留指紋自動識別システムは BOD 承認済み、商用 DSP  $\mu$ PD7720 の開発・実用化と、プッシュプル締結方式を採用したフィジカルコンタクト(PC)接続による光ファイバコネクタは BOD 待ちで、今後承認の予定である。要望のあった英語表記以外のプラークについては、IEEE としては英語が正式だが、additional で他言語も作成可能であると報告があった。

・ Nominations Committee (資料 6-8)

NC Chair より、次期役員・理事の選出についてスケジュール等の説明があった。例年通りの手続きとなる。5月20日までに常設委員会委員長(Committee Chairs)候補者名の連絡を行う。Secretary より、次期理事候補の選出にあたっては、理事会への参加が可能な方、ご自身の担務への積極的な関与に加えて、理事として東京支部全般の活動や課題についても積極的に取り組んでいただける方の選出を是非ともお願いしたいと依頼があった。

## 7. Affinity Group 活動報告

・ Life Members Affinity Group (資料 7-1)

LMAG Chair より、新 Life Members への昇格お祝いメッセージの送付、LMAG-Tokyo ニュースレター、役員人事、会員へのサービス、国内 IEEE 活動への協力、国外 IEEE 活動等について報告があった。

・ Young Professionals Affinity Group

(資料 7-2)

YP Chair より、活動報告があった。審議事項「Sections Congress 参加費について」は、新型コロナウイルスの影響で見通しが立っていないため保留することとなった。2020 年の活動計画について、ハックチャレンジ等は virtual 開催、延期、あるいは中止を検討すると説明があった。イベント実施のガイドラインについて質問があり、Secretary より、現状では、複数・不特定が集まるイベントは基本的に見合わせることで、状況を鑑みて計画変更を検討するよう回答があった。

8. その他

・ JC WIE 報告

(資料 8-1)

JC WIE Chair より、活動報告があった。2020 年の体制について、2019 年 12 月 25 日を締め切りとして、現会長・三役の続投に関する信任投票を会員に対して実施し、異議なく了承された。1 月 29 日に第 1 回 JC WIE 役員会議を開催した。JC WIE 支部移行に関する活動として、WIE 設立に関する意向調査の結果が示された。また新型コロナウイルスの影響で、2020 年のいくつかの活動は日程再調整中であることが報告された。

Secretary より、東京・信越のジョイントでの設立に関して、手続きの進捗について質問があり、JC WIE Chair より、手続きは進んでいると回答があった。

・ R10 Meeting 報告

(資料 8-2)

Secretary より、R10 Meeting 参加報告があった。新型コロナウイルスの影響で 2020 年 3 月 7 日に WEB 会議(WebEx)にて開催され、IEEE President 等ボードメンバを含め、総勢 111 名(WebEx 上の参加数計測)、日本から 20 名が参加した。資料に沿って会議の主な内容の説明があった。Sections Congress の参加者については状況を見ながら調整を図っていくことが述べられた。

・ [参考] IEEE Region 10 Special Industry Track at TENCON2020

(資料 8-3-3)

(Tentative)

Past Secretary より、TENCON2020 会期中の開催日程は未定、1 日間にプレゼンテーションとパネルディスカッションを行うこと、スタートアップ等を念頭に置き、若い人たちが参加でき、新しい技術やビジネスを発表することを考えていると説明があった。TENCON2020 開催の様子を見ながら開催を決めていく。

2020年第2回東京支部理事会を6月3日KDDI(株)飯田橋にて開催予定であることが周知された。

以上